

集まれ!
進化系企業
小規模事業者
中小企業
大企業

第60回 機械振興賞 受賞候補者募集

支援機関
も募集!

令和7年 4月1日(火) ~ 5月30日(金)

GX

DX

AI

省力化

ヘルスケア

開発と支援活動が、表彰の対象になります。

● 技術開発の成果

独創的な開発、新製品の創出、品質や性能の改善、生産の合理化など

● 優れた成果を生んだ支援活動

産官学が連携して新しい価値を創造、公的研究機関・金融機関・中小企業支援機関が継続支援した成果など

賞

申請書類

● 技術開発 研究開発担当者

経済産業大臣賞	80万円
中小企業庁長官賞	50万円
機械振興協会会長賞	30万円
審査委員長特別賞	20万円
奨励賞	賞状のみ

「募集要領」「応募書類の様式」は
下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.jspmi.or.jp/tri/prize/boshu/>



お問い合わせ先

(一財) 機械振興協会 技術研究所 賞事務局

E-mail: prize@tri.jspmi.or.jp

● 支援活動 支援担当者

中小企業基盤整備機構理事長賞	30万円
奨励賞	賞状のみ

後援
(予定)

経済産業省、中小企業庁、中小企業基盤整備機構、産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本政策投資銀行、日本政策金融公庫、東京中小企業投資育成、名古屋中小企業投資育成、大阪中小企業投資育成、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、発明協会、JKA、全国信用保証協会連合会、全国中小企業振興機関協会、日本技術士会、日本中小企業診断士協会連合会、日本機械工業連合会、日刊工業新聞社



一般財団法人 機械振興協会

Japan Society for the Promotion of Machine Industry

第60回 機械振興賞 受賞候補者募集

一般財団法人 機械振興協会（会長 益 和明）は、優れた開発や実用化、開発の支援活動を通じて、わが国機械産業技術の発展に著しく寄与した企業・大学・研究機関・支援機関（以下「企業等」という）と開発・支援担当者を表彰します。
令和7年度は、次の要領で募集します。

1. 表彰対象

次のいずれかを、表彰対象にします（詳細は、募集要領をご参照ください）。

- ① 独創性、革新性、経済性に優れた機械産業技術の開発と実用化を通じて、新製品の創出、製品の品質や性能の改善、生産の合理化等に顕著に寄与した企業等と開発担当者。
- ② 継続的に行われた支援活動が、中小企業の優れた技術開発に、大きく寄与した場合に、支援を担当した支援機関やその担当者等。

2. 応募の方法

受付期間は、**令和7年4月1日(火)から5月30日(金)** 必着。

（電子メールまたはネット便等で送付願います）

「募集要領」および「応募書類の様式」は、下記からダウンロードできます。

<https://www.jspmi.or.jp/tri/prize/boshu/>

3. 表彰の方法

- (1) 表彰対象①の特に優秀と認められるものについて経済産業大臣賞および中小企業庁長官賞の授与を申請するものとし、機械振興協会会長賞、小規模事業者（中小企業基本法における小規模企業者）を対象とした審査委員長特別賞および奨励賞に対し、会長名の賞状を贈呈します。
- (2) 表彰対象②について、特に優秀と認められるものについて中小企業基盤整備機構理事長賞の授与を申請するものとし、奨励賞に対し、会長名の賞状を贈呈します。
- (3) 経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、中小企業基盤整備機構理事長賞、機械振興協会会長賞、審査委員長特別賞を受賞する企業等に対し、記念楯を贈呈します。
- (4) 以下の賞を受賞する研究開発担当者に対し、賞金を贈呈します。賞金の額は、経済産業大臣賞は80万円、中小企業庁長官賞は50万円、機械振興協会会長賞は30万円、審査委員長特別賞は20万円（研究開発担当者が複数である場合も、これらと同額）、また、中小企業基盤整備機構理事長賞は30万円（支援担当者が複数である場合も、これらと同額）とします。

4. 選考

（一財）機械振興協会会長が委嘱する学識経験者から成る審査委員会により行います。

5. 受賞者発表

令和7年12月に発表の予定。

〆切は
令和7年
5月30日(金)
必着